柳井商工高校バドミントン部

高校総体で大活躍!!

団体で女子初V、男子8強

優勝報告会　西京銀行がお祝い金30万円贈る

今夏、富山県で開催された全国高校総合体育大会(通称・インターハイ)のバドミントン競技大会で、女子団体が3月の全国高校選抜初優勝に続いて、春夏連覇の2冠を達成し、男子団体も6年ぶりのベスト8に輝いた柳井市伊保庄の県立柳井商工高校(城浩敏校長、338人)バドミントン部。この快挙を祝う優勝報告会が16日、同校体育館で行われた。

この報告会は、SJリーグ所属の女子実業団バドミントンチーム「ACT SAIKYO」を運営する西京銀行(本店・周南市)が、地域貢献活動の一環として、同部の大偉業を祝うために開催した。

この日、女子部監督の竹光唯至教諭が、男女の結果を報告し、「学校や地域の応援と支援があってこその成績。次の大会に対して、更なる目標を高く、精進していきたい」とあいさつ。

井原健太郎市長もお祝いに駆けつけ、「コロナ禍においての全国制覇で、今後は日本代表として世界に羽ばたき、将来はオリンピック選手めざして頑張って下さい」と励ました。

最後は、西京銀行の金丸眞明副頭取から竹光監督に対し、お祝い金(30万円)の目録が手渡された。

今回の激励を受け、女子部前主将の水津愛美さん(3年)は「春夏連覇を達成でき満足しているが、国体中止を残念に思う。後輩たちには、2連覇達成に向けて頑張ってほしい。自身、12月の全日本で社会人相手に挑戦し、卒業後は社会人チームに入って、将来は五輪に出場してメダルを獲ることが夢」と笑顔をこぼす。

女子部新主将となった1年の田口真彩さんは「自分がチームを引っ張り、全員でエネルギーを出して、連覇を目指すだけです」と語り、男子部前主将の永田拓己君(3年)は「昨年はコロナでインターハイが中止となり、悔しい思いをした先輩の分も含めて戦った。団体はベスト4が目標だったが、6年ぶりのベスト8ということで納得のいく内容だった。来年は今年以上の成績を残してほしい」と期待を込めた。

今回のお祝い金について、竹光監督は「大変ありがたい。今後の遠征費や道具代などに活用したい」と話していた。

なお、同部には今春の選抜優勝後、西京教育文化振興財団から50万円の祝い金が贈られている。

【インターハイ結果】

女子団体は、決勝でふたば未来学園(福島県)の6連覇を阻み、初優勝。男子団体は、準々決勝でふたば未来学園に敗れ、ベスト8に。

女子ダブルスでは、明地・田口組が1・2年生ペアとしては21年ぶりの優勝を手にした。シングルスは、水津さんと明地さんが、ともに3位だった。

メンバーは次の通り。(丸カッコ内は出身中、敬称略)

【女子部】

▼監督＝竹光唯至
▼コーチ＝棟居秀行
▼3年生＝水津愛美(山口・柳井中)永田萌恵(長崎・東長崎中)兵頭更紗(山口・柳井中)吉松佳純(同、マネージャー)
▼2年生＝金廣真季(山口・柳井中)日野石杏(広島・亀崎中)相本珠杏(山口・下松中)明地陽菜(山口・柳井中)新見桃芭(山口・未武中)吉松明華(山口・柳井中、マネージャー)
▼1年生＝吾妻佳奈(埼玉・武里中)佐藤加奈子(福岡・高宮中)田口真彩(山口・柳井中)野田遥加(山口・未武中)

【男子部】

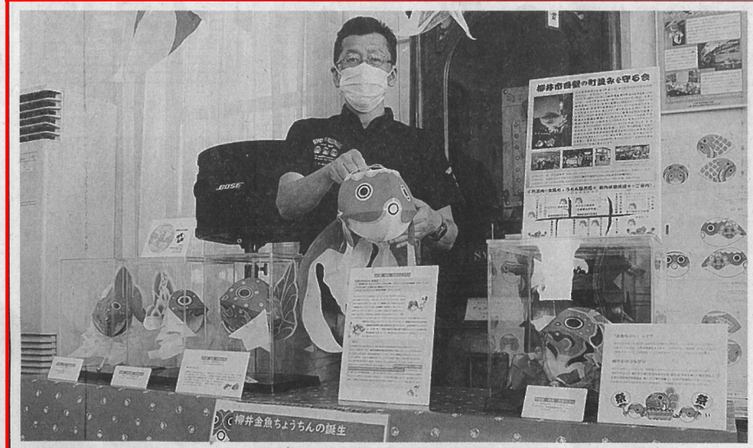
▼監督＝新山晴久
▼3年生＝大野陽輝(山口・未武中)永田拓己(山口・柳井中)本田歩昂(同)増田翔(広島・亀崎中)
▼2年生＝長岡毅晃(山口・旭中)前田健心(山口・柳井中)
▼1年生＝生田壮志(山口・柳井中)中村陵雅(山口・旭中)中山康平(山口・柳井中)兵頭蒼季(同)松村悠来(山口・未武中)松本大吾(同)

(写真は優勝報告会に出席した柳井商工高校バドミントン部の男女選手と関係者)

珍しい見比べ展示企画

青森の金魚ねぷた&柳井の金魚ねぷた

1028日から1028月末まで 守る会主催、市町並み資料館で



柳井市白壁の町並みを守る会(木阪泰之会長)主催の「秋でも飽きんよ 柳井の金魚ちょうちん！『柳井&青森展示ん祭り(てんじんまつり)』が9月28日(火)から、市内金屋の市町並み資料館で開催される。弘前文化財保存技術協会の協力。

今回、令和の北前船プロジェクトとして、柳井の金魚ちょうちんと、そのルーツである青森県弘前市の金魚ねぷたを始め、青森県内各地(五所川原、青森、大鰐)の金魚ねぷた・金魚ねぶた4体を一堂に見比べることができる珍しいミニ展示会を初めて開催する。

展示は、10月31日まで。時間は午前10時から午後5時まで。毎週月・木曜日が休館日。入館無料。

【金魚ねぷたとは？】

青森県内の祭りで運行する金魚型の灯篭や山車のことで、地域によってデザインは様々。江戸時代に津軽藩(現在の弘前市)で飼育されていた「津軽錦」という金魚をモチーフに作られたのが始まり。

【柳井と弘前のつながり】

令和元年2月に開催した同守る会創立40周年記念事業の講演会で弘前から講師を招いたことをきっかけに交流がスタート。同年夏には、守る会会員が弘前市を訪れ、金魚ちょうちんの展示や白壁の町並みをPRし、弘前ねぷたまつりで柳井の金魚ちょうちんを持って練り歩いた。また、昨年は弘前市で柳井の特産品販売や金魚ちょうちん製作体験を、今年は金魚ちょうちんを展示している。

(写真は青森県の金魚ねぶたを展示し、柳井の金魚ちょうちんを手にする木阪会長)

独歩フォトコン30日から作品展

柳井地方で青春時代を過ごした明治の文豪・国木田独歩(1871～1908)の読書会を行っている柳井市の市民グループ「やない独歩クラブ」(森本政彦代表)が、独歩生誕150年記念事業の一環として実施したフォト・コンテストの応募作品展を9月30日から、市内古市のやない西蔵で行う。

同クラブでは当初、9月2日から9日まで実施する予定だったが、新型コロナ感染拡大のため、開催を延期し、今回の開催となった。

県内外から18人、58点の作品が集まり、入賞者14人(優秀1人、佳作3人、入選10人)を決めている。作品は10月7日まで。5日午前9時から午後5時まで。

覚せい剤使用で56歳無職男逮捕

柳井署は22日、市新庄の無職容疑者(56)を覚取締法違反(使いで逮捕した。

横断歩

柳井市連合婦静恵会長)主催域婦人会リーダー研修会が15日ライアリーナ(で行われた。

高齢歩行者ライバーの交止と高齢者の安全利用の推ことを目的に の研修会は、染予防対策の数制限をし、各代表者30人が出

開会行事で長が「今回、初みとして、交通ついて初心に立えようと、この企画した。歩行車、運転手がそ の立場に立って

柳井市スポ